

“原発なくせ”“再稼働やめろ” 日本列島騒然！

政府はいますぐ「原発ゼロの日本」をめざす 政治的決断をおこなえ！



「さようなら原発10万人集会」
(代々木公園)

はぐるま

日本共産党
川崎重工委員会

困ったときはお気軽
にご相談ください

内容は口外しません

TEL : 341-3235

FAX : 341-3236

メールアドレス

spum69u9@pony.
ocn.ne.jp

ご意見や投稿など
もお寄せください

ホームページ [http :
//www.jcp-kawajyu.jp/](http://www.jcp-kawajyu.jp/)

携帯サイト [http :
//www.jcp-kawajyu.jp/i/](http://www.jcp-kawajyu.jp/i/)



福島原発事故が明らかにしたこと
は、原発事故には、一度おきたら、
被害を空間的・時間的・社会的に限
定することが不可能な「異質な危険」
があり、原発と人間社会とは決して
両立できないということでした。

国民生活よりももうけ優 先で再稼働―最悪の「安全 神話」の復活

野田首相は、「原子力村」(注
こと呼ばれる利権集団の要請を
受け、6月16日、「国民生活を
守るため」という口実で、大飯
原発3、4号機の再稼働の最終
決定を行いました。関西電力は、
それを受け早速7月に再稼働
(3号機1日、4号機18日)を
強行しました。これは、国民の
生活よりも利権集団のもうけを
優先するもので決して許される
ものではありません。

また、国民の多くが重大な原
発事故の危険性に不安を強めて
いる中で、野田首相は、「安全
は確保されている」と言い切り
ました。しかし、実態は、福島

原発事故の原因究明も、事故を
防ぐ対策も、安全を守るまとも
な規制機関もないままです。そ
れにもかかわらず、具体的根拠
も対策も示さないうまま「電力不
足」(注二)でおどかして、再稼
働を強行するのは最悪の「安全
神話」の復活そのものです。

「原発なくせ」の一点共闘 が空前の規模へ

国民は、再稼働に挫折感をも
つどころか、7月16日の「さよ
なら原発10万人集会」には17万
人、7月29日の国会大包围行動
には20万人(いずれも主催者発
表)という人々が参加し、再稼
働に怒りの声をあげています。
いまや、政治的立場の違いを
こえて、「原発なくせ」の一致
点にもとづく共同が空前の規模
に発展しつつあります。そして、
この運動が原発の理不尽さと利
権構造を日々浮き彫りにさせて
います。

【2頁へ続く】

大河

連日熱闘のロンドン
五輪が閉幕しました。
選手たちがフェアプ
レーで技と力の限りを尽く
し、競技後に健闘をたたえ
合う姿は、世界の多くの人
たちに感動と勇気をもたら
しました。2014の参加国・

地域のすべてで、女性が参
加を果たしたことは、女性
のスポーツ参加と男女平等
の進展という点でも画期的
なものとなりました。

「この銀メダルによつ
て、子どもたちが銃やナイ
フを置き、その代わりに運
動靴を手にとってくれれば
いい。」(政情不安な中米
グアテマラの初の五輪メダ
リスト)、「国民が再び一
体となるような試合をし
て、暴力を終わらせたい」
(内戦シリアの女子選手)
もともと五輪は、「人間
の尊厳保持に重きを置く、
平和な社会を推進する」こ
とを大きな目標とし、前提
ともしています。「ひとつ
の世界に向けて」をテーマ
に掲げられた今大会は、世
界を友情と平和でつなぐ力
となり、次の新たな世代へ
の希望のメッセージとなっ
たのではないのでしょうか。

【1頁より】 「原発ゼロ」のたたかい の歴史的意義

「原発ゼロ」のたたかいは、人間の命と安全をなによりも大切にすることを勝ち取るたたかいであり、「原子力村」の支配とエネルギーの対米従属という日本の政治のひずみを正すたたかいかでもありません。いま空前の規模に発展しつつあるこの共同は、日本の歴史を変えるたいへん希望ある運動です。「原発ゼロ」の日本をつくるためにみんなで頑張りましょう。

(注一) 財界、政界、官僚、御用学者、一部メディアで形成された利権集団。原発は、一基つくるのに5千億円ともいわれ、また、原発設置や運営の莫大なコストをそのまま電力料金に上乗せできる仕組みになっています。これまでこの集団が、国民をウソで欺いて原発を推進し、巨額の利益をむさぼってきました。

(注二) 関電発表の電力需要・供給の実績を見ると、電力使用量が今夏最大に達した日です。え、大飯原発3、4号機が稼働しなくても供給量は足りていました。原発

停止で、本当に電力不足が起きたのでしょうか？



労働組合について考 えてみましょう(続)

「はぐるま」11年秋季号、12年新年号で、労働組合とは何か、労働者の団結を阻んでいる問題等について書きましたが、今回は、会社もつともやっつてはならない労働組合選挙への介入の問題について、考えてみたいと思います。

○会社の労組役員選挙への介入は不当労働行為

7月に行われた労働組合の支部執行委員選挙の前に、神戸工場で「インフォーマル」組織である川友会の総会に会社の管理部長が出席して、「会社と良い関係を築くため」に労働協力を進めたい。今度の選挙では良識ある判断を」と組合選挙に介入する発言をしました。

え！「川友会」の会合に 管理部長が出席??

労働組合法(第2条)では、労働組合は労働者が自主的に運営していること、会社の指示にしたがって活動することなく、労働者が自ら進んで活動すること、などが定められています。会社が組合選挙に介入することは、川友会を通じてであり、労働組合法で禁止

している不当労働行為にあたります。
○労働組合の基本原則は資本からの独立

労働組合は、会社から独立し、あくまで労働者の自主的な組織でなければなりません。そうしないと、労働組合の本来の目的である労働者の生活と権利を守る活動が、制限されてしまいます。

また、自社の利益目標を推進する労資協調主義では、会社に対するチェック機能という労働組合の基本的な役割さえ発揮できなくなります。これでは、労働組合の自殺行為であり、会社の健全な発展にとつても有害となります。

労働組合にとつてきわめて重大な役員選挙に会社の介入を許さず、組合員が自発的意思で選挙できるようにするのが、本来の姿ではないでしょうか。

川友会とは?

1966年頃、労働運動の高揚に危機感をもった会社が、「良好な労使関係」の確立を口実につくった労組介入の「インフォーマル」組織。

契約社員の差別的待遇を是正し、正社員への積極的な登用を!

多くの労働者は、家族を養い老後の生活に備えつつ、もの作りに誇りをもつて働いています。しかし、契約社員の労働条件は、正社員に比べあまりにも劣悪です。

契約社員の就業規則には、雇用期間は1ヶ月以内、最長2年11ヶ月で解雇。病気欠勤で1ヶ月を超えると、その月末で解雇。一時金はなしで、1時間あたりの単価は千数百円程度。賃金は1ヶ月の労働時間で決まるので、休みの多い月は生活がおびやかされる状況。慶弔休暇・育児時間・介護休暇等は規則すらありません。

2011年6月の「ダイバーシティ推進」の社長メッセージには、「多様な従業員全員が共に働けるから、組織として最大の成果を出す」職場づくりを進めていくとあります。

契約社員も従業員であり大事な人財です。雇用の継続とまともな生活ができる賃金の保障、厚労省が指導

する「通常の労働者との均衡の取れた待遇」への是正をただちに行うべきです。

また今年も、多くの契約社員が2年11ヶ月という雇用期限を迎えます。各工場では正社員への登用が進んでいますが、満期を迎える契約社員については無条件で正社員にすべきです。

そうすれば、社長が言う職場づくりも推進できるのではないのでしょうか。

神戸工場の有志の労働者が労働組合に要請

- 坂出工場の死亡災害に関し、神戸船舶支部の執行部に、すべての「孤立作業」(相互注意や確認が行えない一人作業)を調査し、解消の対策をとるよう要請しました。執行部は、「従来通りでは済まないでフォローしていく」と回答。
- 自殺・在職死問題に関し、労組本部に、パワハラやサービス残業の有無を含む労働実態、会社の安全配慮義務の履行状況などを調査し、必要な対策を講じるよう要請。執行部は、「自殺の増加に歯止めをかけるために、適正な労働時間管理の問題も含め、幅広くアンテナを張り職場の問題を吸い上げる」と回答。

読者の広場



17万人の熱気を感じて

7月16日「さよなら原発10万人集会」に参加してきました。

当日は晴れの良い天気、新幹線の新神戸駅では、「NO NUKES（脱原発）」と書かれたうちわを持った人や、「原発はいらない！」と書いた帽子をかぶった人を何人も見かけました。

11時30分ころ会場の代々木公園の広場に着くと、うだるような暑さのなか、家族連れや、会社員などたくさんの方が詰めかけていました。12時すぎ小室等さんのオープニングライブが始まり、7人の呼びかけ人の挨拶がありました。その一人の落合恵子さんは、「コンクリートより人命より原発を選んでしまいました。私たちはひるみません。原発はいりません。」

と述べる大きな拍手が沸き起こりました。

その後、17万人の熱気を感じながらのパレード行進では、思い思いにプラカードやのぼりを掲げて、「原発反対!」「再稼働を反対!」などとアピールしながら、元気よく行進しました。(神戸・T)



「原発ゼロ」はみんなの願い

高校生の時に読んだ「原発ジプシー」という本で、初めて原発の矛盾を知った。

その後、日本の原発は五十四か所も作られていった。「原発は安全」という神話を信じて作られていった。

「代々木公園10万人集会」の記事を読んで

脱原発という一つの思いに17万人もの熱い意思が集結しました。

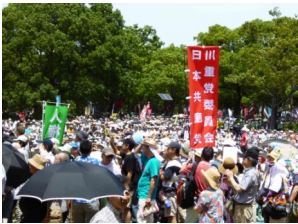
それでも「再稼働」という野田政権には故郷を離れた人々の声が届かないようです。子どもさんからお年寄りまで全国から集まり本当に歴史が変わるパワーを感じました。(Y)

今回の福島原発事故で、放射能や原発が「人間が制御できないエネルギー」であることを世界に知らしめた。今の「原発ゼロ」の声は、「安全な日本を作りたい」と願う人たちの声である。

「子供たちに未来を」と約束する人たちの熱い思いが日本列

島を駆け巡っている。みんな「歴史の一ページ」を作ろう。

(K)



株主総会で労働者の立場から発言

6月27日、川重の株主総会が開かれ4名が労働者の立場から質問・要望しました。私は、「各工場ではビルの新築が進み目をみはります。株主への配当が昨年3円、今年が5円という事で増えています。喜ばしいことです。長い間、川重を支えてきた請負労働者や派遣労働者に対し、賃金カットや切り捨てなど犠牲を強いてまで株主配当を増やしているものでしょうか。労働者の生活や雇用を守るといふ企業の社会的責任を果たすこと、原発から撤退し自然エネルギーを推進すること」などを要望しました。(神戸・H)

下請け労働者(造船)に思いを寄せて

下請け労働者のYさん、下請け単価の引き下げについて聞くと、「その通りや! そのとばっちりだ、ボーナス代わりの寸志はなくなるし、昼食代も自己負担となり、1割くらいカットされることになる。まったく酷い話です」「わ

契約社員だからといってあまりにも酷い

作業着は半袖だけ支給され長袖は支給されない。欲しかったら自分で買えと言われた。事故が起きたとき、正社員だけ集めて安全教育をしていた。一緒に仕事しているのにワシらはどうなってもよいのだろうか。職場では歓迎会も送別会もないし、あいさつもさせない。契約の更新時に、面談の一つもない。20代の正社員から「君」と言われる。もっと人間的な扱いをできないのか。(明石・M)

しら日給・月給やから、夏季休暇になると出勤日数が減るので給料も減る。有給休暇を取りたいが取れない」と。

下請け業者およびそこで働く仲間のみなさん、川重船舶海洋カンパニーの無謀ともいえる下請け単価の切り下げや、それに伴う人員整理を許さないたかひを引続きがんばりたいと思います。みなさん、共に立ちあがりましょう。

(神戸・T)

工場見学会に参加しました

兵庫工場では、7月29日にファミリー行事として「工場見学会」が開催されました。

多くの従業員が家族連れで参加し、新幹線をバックにした写真撮影会には長い順番待ちの列が出来ていました。車輛本館ビルでは、鉄道模型同好会の皆さんが鉄道模型を走らせていて、子供連れの家族で盛況でした。

家族にとって、配偶者、両親、子供がどんなところで働いているのかは、非常に興味のあることなので、

工場を解放した今回のような行事はとても良いと思います。

当日はとても暑かったのですが、次はいい気候の時期に開催してもらえると嬉しいですね。(兵庫・M)

明石工場「近隣マンション建設」

新ビル建設に向け解体工事が続く西門一帯ですが、小中学校・幼稚園へ迷惑をかけてないか心配が続くなか、7月中旬になって明石工場西側近隣マンションの掘越しに、「ファミールの

眺望を阻害する川重の高層ビル建設反対」の、のぼりと横断幕が立ちました。近隣マンションを怒らせてしまったのです。

工場の中では何でも思い通りになりますが、近隣住民との関係を忘れてはなりません。マンション住民の眺望を阻害しないよう十分配慮した新ビル建設を進めてほしいものです。地域に

支えられた企業であることを忘れてはなりません。(明石のバイク王)



それって「報道管制」?

サービスマン残業の多少は仕方ないと思いますが、突然自宅で亡くなられた方がいました。会社は一切情報を公開せず、机も早々に片づけられてしまいました。過労死?自殺?と噂されています。真面目に働いていた人なので驚きました。人事異動にも掲載されず、隠そうとする会社の行動が信じられません。(西神戸・V)

配慮の仕方が違うのではないのでしょうか

西神戸工場は、夏のボーナスで業績連動分が他の力

ンパニーに比較して断トツに多く過去最高額でした。その分、休暇取得率も最も低く、残業時間も断トツに多いです。

ボーナスの日には、上長より「ボーナスの話は派遣の人がいる近くでしてはいけません。ボーナスの労働情報や組合ニュースも机に置いてはいけません」等のメールが送られてきました。KPM時代には、派遣の人たちに商品券が配布されていたが、KHIに戻ってから一切ありません。(西神戸・P)



最近のニュースから

「核兵器禁止条約」へ共同を強めよう

被爆から67年目の今年、8月6日・9日に広島・長崎で原水爆禁止世界大会が行われました。大会では今なお人類の生存を脅かし続けている、約2万発の核兵器廃絶に向けて、全力を尽くすことを訴える「国際会議宣言」を採択しました。

一発の核兵器がもたらす惨状は、人間として死ぬ事も生きる事も許さない、人類と文明に対する犯罪です。

世界では2015の年NPT(核不拡散条約)再検討会議に向けて、「核兵器のない世界の平和と安全の実現(2010年合意)」へ取り組みが始まっています。

核被害の恐ろしさを浮き彫りにした3・11原発事故を契機に、「原発ゼロ」を求める運動が、国を揺るがすほど広がっています。この運動と呼応し、「核兵器のない世界」に向けた「核兵器禁止条約」締結の交渉を求めて、世論と運動を飛躍的に強化していきましょう。

【主張】消費税増税の実施を許すな

消費税増税法案が10日、参院本会議で、民自公3党などの賛成多数で強行可決、成立しました。しかし、法案の中身も論拠も崩れてボロボロです。増税の実施は2014年4月です。その前には、衆院選・参院選が必ずあります。公約破りとその共同正犯たちに国民の審判を下して、増税を実施させず、廃止することは可能です。たたかいはこれからです。増税を中止に追い込みましょう。

害悪はつきり、致命的な欠陥はこんなにか!

- ▼低所得者ほど負担の重い消費税の「逆進性」は深刻です。
- ▼中小企業が消費税分を価格に転嫁できず、自ら負担をせざるを得ないという致命的欠陥もそのままです。
- ▼消費税増税による国民負担増は家計を直撃して景気を一層悪くし、財政再建も逆効果です。
- ▼消費税増税は「社会保障のため」と言いつつ、社会保障では国民負担増を求め、巨大公共事業のばらまき財源にもする計画です。

震災募金 受けつけています

郵便振替

【口座番号】00170-9-140321
【加入者名】日本共産党災害募金係

通信欄に「震災募金」と記してください。
なお、手数料はご負担をお願いします。